

平成21年度児童・生徒の学力向上を図るための全体計画

狛江市立緑野小学校

日本国憲法・教育基本法
学習指導要領
東京都教育委員会教育目標
狛江市教育委員会教育目標
など

学校教育目標
よく考える子
美しさを感じる子
協力できる子
健康でがんばる子

児童の実態や願い
保護者の願い
地域社会の願い
教職員の願い
学校運営連絡協議会からの意見
など

本校における「確かな学力」

緑野小学校の考える「確かな学力」

「確かな学力」とは、「知識」や「技能」に加え、「学ぶ意欲」や「問題解決能力（自ら問題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断・行動し、よりよく解決する資質や能力）」からなると考える。この「確かな学力」の育成をめざして、学習指導要領に示された基礎的・基本的事項を重視しつつ、本年度は以下の児童像を目標とする。

「確かな学力」をそなえた児童の姿

自ら学ぶ意欲をもち、主体的に学習に取り組む子ども。
よく考え、判断し、表現する子ども。
学習指導要領に示された基礎的・基本的事項が身に付いている子ども。

指 導 の 重 点	
国語	相手や目的・場に応じて適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。学期ごとの読書週間や朝読書を通して本に親しむ習慣を身に付ける。
社会	社会生活についての理解を深め、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
算数	基礎的な知識と技能を身に付け、見通しをもち筋道を立てて考える能力と多様な見方・考え方を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を養う。T・T・少人数学習を実施。ティーチングアシスタントなども活用しながら個に応じた指導を行う。
理科	自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事象・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。4年生以上はT・Tが入り個に応じた指導を行う。
生活	具体的な活動や体験を通して、人とのかかわりや自分自身の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。
音楽	つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。
図画工作	音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
家庭科	家庭生活への関心を高め、家族が互いに協力しあい、生活をよりよいものにしようと工夫する実践の態度を育てる。
保健体育	運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。
道徳教育	・人間尊重の精神を基に、思いやりの心をもって互いに認め、協力して助け合おうとする心を育てる。 ・社会の一員としての自覚を高め、責任をもって行動できるように実践意欲と態度を育てる。
特別活動	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達や個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育て、集団の一員としての自覚をもつことができるようにする。
生活科や総合的な学習の時間	・自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力や自己の生き方を考える力、学習や生活に生かす力を育てるとともに、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる為に、児童の興味、関心に基づく学習や創意工夫を生かした教育活動を工夫する。 ・体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れるとともに、多様な学習形態や指導体制を工夫する。 ・地域の教材化及びゲストティーチャーの活用を通して、地域との連携を図る。
進路指導（キャリア教育）	・身の回りの人の仕事に関心をもち、働くことの大切な意義を理解し、社会奉仕や勤労意欲を体得することができる。 ・夢や希望、あこがれをイメージし、将来に希望をもつことができる。 * ボランティア活動などの社会体験、見学や調査発表などの体験的な学習。二分の一人入式を4年生で実施。
生活指導	・基本的生活習慣を定着させる。…時刻の厳守、正しい姿勢、廊下の歩行、望ましい礼儀作法や言葉遣い・あいさつを身に付ける指導に重点をおく。 ・優しさ、思いやりのある心を育てる。がまんする心を育てる。…人とのかかわり、自然とのかかわり、ものとのかかわりにおいて優しさと思いやりの心を育てる。 ・安全教育の徹底を図る。…児童自らが安全に配慮できるよう、校内の安全な環境作りや学校内外の交通安全指導の徹底を図る。

本校の学力向上に向けた具体的な取組視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫・学習環境の整備	校内における研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
問題解決能力の育成 ・教科担任制の実施 ・情報教育センター（学校図書館、パソコンルーム）を活用した調べ学習の取組 ・研究授業を通じた事例研究と授業実践 個に応じた指導 ・算数の少人数指導 ・理科のT・T指導 繰り返しの学習 ・のびっこ（朝の学習） ・サマースクール（夏季休業中の補習） ・補助教材の活用	授業時間外の活用 ・のびっこ（朝の学習） ・サマースクール（夏季休業中の補習、興味・関心の喚起） 長期休業中の会議等の有効活用による授業時数の確保 授業時数の確保と教育課程の適正な管理 ・授業時数の自己管理 外部評価・内部評価 学校運営連絡協議会による評価	指導技術の向上 ・校内研究 ・長期休業中の研修 ・研究先進校訪問・資料活用 ・自主的な研究（問題解決の会）	授業評価 ・保護者による授業評価（学校評価） ・児童による授業評価（児童による学習の感想等） 評価の工夫 ・多面的な評価（個の丁寧な見取りやノートやワークシート等からの評価、児童の相互評価等） 教員相互の授業評価 ・校内の研究授業や問題解決の会を通して	行動連携 ・PTAや地域諸団体との連携・協力 ・地域イベントへの協力・参加 ・幼保小中の連携・充実 ・専門知識や経験のある学習支援者の協力 ・教育コーディネーターに（保護者）による授業支援 ホームページの日常的な更新 学校公開、道徳授業地区公開講座の実施 家庭訪問、個人面談の実施 保護者・学校運営連絡協議会による学校評価
【実施の主体となる校内組織】				
教務部会 学校図書館運営委員会 研究推進委員会	教務部会	教務部会 研究推進委員会 問題解決の会	教務部会 研究推進委員会	学校運営連絡協議会